

令和3年度一般会計補正予算第2号(9月補正)説明資料(別冊)

文 化 的 施 設 整 備 事 業  
(仮称)

▶基本設計「文化的施設」  
イメージ(模型)写真



令和3年9月8日  
企画課／文化的施設整備推進室

# 図書館・美術館共通の現状と課題

【現状】 [本館] 昭和40年に「窪川町立図書館」を開館 ※旧大正町・十和村は未設置でいずれも公民館内に図書室を設置  
平成12年に現施設（旧法務局／昭和63年建築）に移転し、町立美術館を併設

※図書館と美術館の併設は、県内外でも珍しい

延床面積：615.65㎡（平成21年度の増築後）

構造：鉄筋・鉄骨コンクリート造（一部木造）2階建て

駐車台数：11台（図書館・美術館共通で500㎡）

[分館] 平成26年に町立図書館大正分館を開館 ※十和地域は未設置

R03.03.31現在

本		館
図 書	図書閲覧室	229. <sup>27</sup> ㎡
	図書書庫	66. <sup>32</sup> ㎡
	蔵書数 (うち開架)	45,743 冊 (27,983 冊)
美 術	美術展示室	85. <sup>00</sup> ㎡
	美術品所蔵庫	119. <sup>02</sup> ㎡
	作品数	764 点
事務室（共通）		18. <sup>47</sup> ㎡
その他（トイレ等）		97. <sup>57</sup> ㎡
計（延床面積）		615. <sup>65</sup> ㎡

- 【課題】
- ・建物自体の面積が狭く、様々な利用が制限されている
  - ・図書館では、閲覧スペースや収蔵できる冊数に限りがあり、十分なサービスが提供できない環境にある
  - ・美術館では、収蔵スペースが限界に達していることや、所蔵物の適切な管理が行えない環境にある
  - ・公共施設としてユニバーサルデザイン※に対応していない  
※ユニバーサルデザインとは…年齢や能力・状況などにかかわらず、できるだけ多くの人が使いやすいようなデザイン（建物の構造や機能・設備など）のこと
  - ・人員や雇用条件等、十分なサービスを提供できるだけのスタッフ配置が出来ていない



▲現図書館・美術館の外観



▲閲覧スペースや通路が狭い



▲車イスなどでの利用が困難



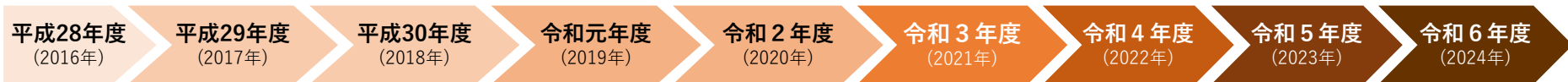
▲適切な管理が行えない収蔵庫



ハード・ソフト両面の課題を「文化的施設」の整備を通して解決します！

# これまでの経過及び今後の予定

R03.08.31現在



5月8日  
9月  
12月  
9月  
7月  
7月  
3月  
3月  
4月  
9月  
2月  
2月  
4月  
4月  
3月  
4月  
7月  
9月  
3月

議定会例会において文化的施設(図書館)関連の一般質問等が始まる  
地域座談会での意見内容を議会9月定例会の「行政報告」の中で報告  
地域座談会を開催 ↓ 図書館等の文化施設の充実を求める意見あり

文化的施設検討委員会(15名)を設置 ※令和2年3月まで

地域情報化アドバイザー委託業務を契約(総務省補助事業/町負担なし)  
検討委員会「ワークショップ運営等支援委託業務」を契約 ↓ 策定に着手

「基本計画策定及び設計事業者選定公募支援委託業務」を契約 ↓ 策定に着手

文化的施設「基本構想」策定

「補完アドバイザー」委託業務を契約

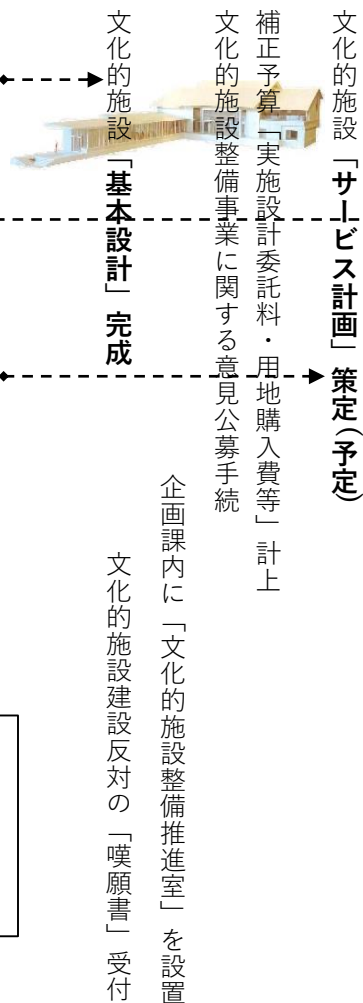
議会9月定例会の行政報告において「建設予定地」表明

「基本設計」及び「サービス計画」策定業務等に着手

総合アドバイザー委託業務を契約

基本設計の委託先をプロポーザル方式により決定

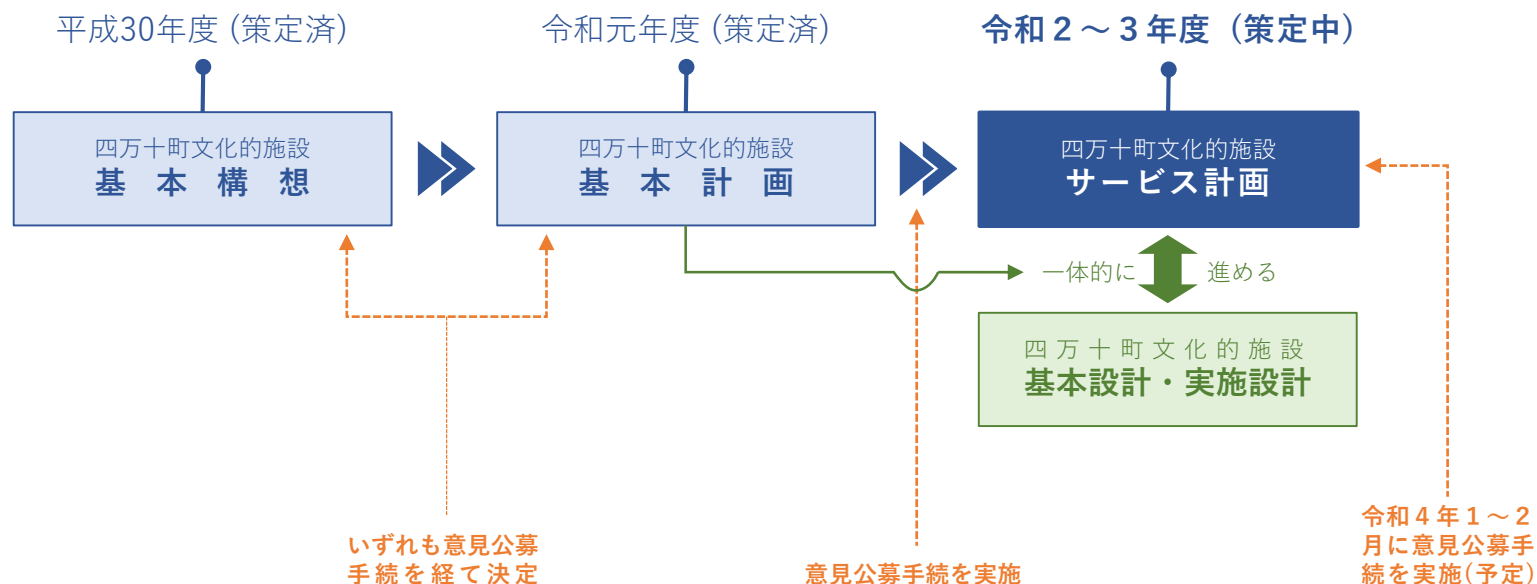
文化的施設「基本計画」策定



<参考>  
合併特例債発行(借入)  
期限：令和7年度

今後の主な作業内容	期 間
補正予算計上(実施設計・用地購入等)	—
実施設計 → 工事費積算	12か月
事業認定申請(土地収用手続) ※並行作業	—
工事予算計上 → 予算可決	3か月
入札手続 → 契約議案可決 → 契約	3か月
本体工事	12か月
図書等引越し作業・開館準備	6か月
(予 備)	3か月
<b>計</b>	<b>[最短] 約3年</b>

## ④ サービス計画 (素案) の概要



- 計画の具体的な内容については別冊のとおりです。ただし、以下の点にご注意ください。
  - ▶ サービス計画は「素案」の段階であり、検討中の内容が含まれています。
  - ▶ 今後、内部での協議や関係団体・元文化的施設検討委員会委員等との意見交換などを踏まえて「サービス計画(案)」を策定し、意見公募手続を経て決定していきます。
  - ▶ このため、今後の協議内容等によって変更になる場合があります。

## ■ サービス計画 とは …

「**基本構想**」や「**基本計画**」に基づいて、文化的施設で提供するサービスの基本的な考え方と具体的な実行計画（町民と行政の共通マニュアル）を示したものが「サービス計画」です。

さらに施設が完成して終わりではなく、町民の皆さんが施設を活用していくことで町民自らが創り上げていく（新たなモノを生み出したり、より良いものに磨き上げていく）計画でもあります。

## ■ 計画期間

令和6年度の施設開館を前提として「令和4～8年度の5か年計画」とします。

※1 可能なサービスについては、随時提供を開始します。

※2 開館に向けて必要な準備等の内容を含みます。

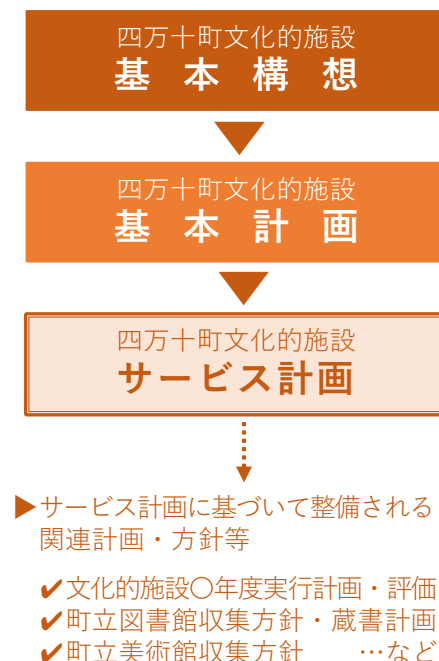
## ■ サービス計画の策定作業体制

企画課文化的施設整備推進室が主体となり、教育委員会生涯学習課及び図書館・美術館、各地域振興局と連携しながら進めていきます。なお、図書館・美術館機能については、図書館と美術館が中心となって進めています。 ※策定にあたっては専門業者（総合アドバイザー委託業務）による業務支援あり。

## ■ サービス計画の策定作業期間

令和2～3年度（2か年）

※基本計画(P23)において「サービス計画と設計を一体的に進める」こととしています。



# ビジョンの実現に向けた「サービス計画」等の施策体系図

文化的施設  
基本構想

理  
念

ビジョン (未来予想図)

▶ 目指すこと

まちの文化が流れ、ひとにひらかれ、ひとが集まる四万十駄場

コンセプト (概念・構想)

▶ 実現の方針

人・自然・文化 ~やわらかい社会をつくる~

具体的な5つの役割

- (1) 人とまちをつなぐ、コミュニティの場
- (2) 子どもたちが自分の居場所を見つけられる場
- (3) 最新の情報と技術を活用した多様な文化・芸術体験の場
- (4) 想像／創造体験を通じた自己表現の場
- (5) STEAM教育に基づく試行錯誤の場

詳細については、別紙「サービス計画(素案)における主な機能と役割」のとおり

文化的施設  
基本計画

施  
策

アクションプラン

- (ア) 図書館・美術館・コミュニティを核とする文化機能の融合
- (イ) 広域なまち全体にひらかれ、各地域をつなぐ
- (ウ) 施設とともに支えるサポーター制度の整備
- (エ) 実空間と情報空間をつなぐ情報システムの導入

4つの機能

- ① 図書館機能
- ② 美術館機能
- ③ 展示機能
- ④ コミュニティ機能

文化的施設 サービス計画

## 1. 文化的施設(仮称)の設置目的と位置付け

生涯学習機能(図書館等)を含む施設全体の目的と位置付け・計画期間

基本計画に位置付けた  
アクションプラン …

### 施設の「具体的な5つの役割」を果たすための主な機能

- (1) 人とまちをつなぐ、コミュニティの場
- (2) 子どもたちが自分の居場所を見つけられる場
- (3) 最新の情報と技術を活用した多様な文化・芸術体験の場
- (4) 想像/創造体験を通じた自己表現の場
- (5) STEAM教育に基づく試行錯誤の場

それぞれの機能が有機的に連携する(相乗効果が生まれる)ことで、これまでにない活動スタイルや世代間の交流が生まれ、具体的な5つの役割が実現可能となる

## 2. 施設の全体的・融合的な機能と役割

### ① 運営体制


- ・直営又は指定管理の方法
- ・職員体制(役割や人材育成など)
- ・協議会組織
- ・連携体制(産官学民)
- ・利用条件(開館時間・休館日等)、
- ・アクセス手段 など

### ② 広報普及

施設の価値の普及・浸透、  
広報手段 など

### ③ IT・DX※の融合

実空間と情報空間の融合、  
個別機能 など

■次ページ以降  で表示しています



## 3. 施設を構成する個別要素の機能と役割

■次ページ以降、新規事業は 新、既存サービスの拡充は 拡 と表示しています

基本計画に位置付けた…施設の「4つの機能」

### ① 図書館機能

- (1) 情報の収集範囲及び方法
- (2) 情報の整理方法
- (3) 提供サービスの種類
- (4) 保存情報の範囲と方法
- (5) 提供プログラム(イベント等)

### ② 美術館機能

- (1) アートプロジェクト  
(創造・創作体験など)
- (2) 作品の収集・管理・展示
- (3) ラーニングプログラム
- (4) アートイベント、公募展等の実施・支援

### ③ 展示機能

- (1) 歴史・文化を伝える資料
- (2) 四万十川をはじめとする  
四万十町の魅力発信

### ④ コミュニティ機能

- (1) 集う・過ごす・話す・楽しむ
- (2) 飲食(場所・出店販売等)
- (3) ものづくりラボ
- (3) まなびサポート
- (4) 子育てサポート



### 【用語説明】

※ IT… 情報通信技術のこと (Information Technology)

DX… 進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること (Digital Transformation)

## ① 図書館機能

- (1) 情報の収集範囲及び方法
- (2) 情報の整理方法
- (3) 提供サービスの種類
- (4) 保存情報の範囲と方法
- (5) 提供プログラム(イベント等)

図書館は、あらゆる分野・時代・古今東西の資料※や情報の窓口です。資料や情報の活用をとおして町民の方々の学習や課題解決につながり、町の未来を拓きます

※ 資料… 本・雑誌・新聞・デジタル資料・絵画・歴史的資料などを包括して資料といいます。

■具体的には…

地域を支える情報拠点：  
四万十町図書館の本館と  
しての役割を果たします

町民の皆さんの課題解決  
を支援します

新しい技術を取り入れ連携  
をとおして町民の皆さんの  
学びをバックアップします



**新**▶ パソコンやスマートフォンから図書館資料が予約できる環境を整備します

**拡**▶ 四万十町関係資料の収集・保存や、町の歴史を記録し保存する取り組みを行います **IT・DXの融合**

**新**▶ 移動図書館を運行し、まちなか図書館(サテライト貸出)を行います **IT・DXの融合**

**拡**▶ ユニバーサルサービス(図書館の利用に障害のある人へのサービス)に対応します **IT・DXの融合**

**拡**▶ 蔵書規模：現蔵書冊数45,743冊  
→ 収容冊数約 8.2万冊

**拡**▶ 四万十町の課題に沿ったコレクション(例：林業、四万十川)を形成します **IT・DXの融合**

**新**▶ オンラインデータベースを導入します **IT・DXの融合**

**拡**▶ 児童向けサービスのさらなる展開と学校との連携を行います

**拡**▶ ビジネス支援、健康情報支援、高齢者向けサービスを行います

**拡**▶ 町民の課題解決につながる資料企画展示を行います

**新**▶ STEAM教育に基づき、試行錯誤しながら学ぶことのできる環境を整備します **IT・DXの融合**

**拡**▶ 電子図書の利用をすすめます ※高知県立図書館オーテピアのサービスを活用 **IT・DXの融合**

**新**▶ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを始めます **IT・DXの融合**  
※専用端末の設置





## ② 美術館機能

- (1) アートプロジェクト  
(創造・創作体験など)
- (2) 作品の収集・管理・展示
- (3) ラーニングプログラム
- (4) アートイベント、公募展等の実施・支援

四万十町の芸術文化の拠点であり、アートと出会い、様々な体験をする場として、町民の交流と一人ひとりの自己表現の可能性を拓きます

■具体的には…

四万十町にゆかりのある美術作品の収集と保管・活用を行います

**拡**▶ 収蔵している美術作品は保存状況の点検を行ったうえで適切に保管し、展示・活用を行います

**新**▶ 静寂な展示・鑑賞のみならず対話型鑑賞を行います

IT・DXの融合

まちのアトリエとして芸術活動と発表・共有の場を町民の皆さんと一緒に作ります

**新**▶ 文化的施設のアートスペースや中庭も使いながら絵画・音楽・演劇など様々な芸術活動を行います

**新**▶ デジタル通信を使って、町内の他の場所からの参加も可能にします

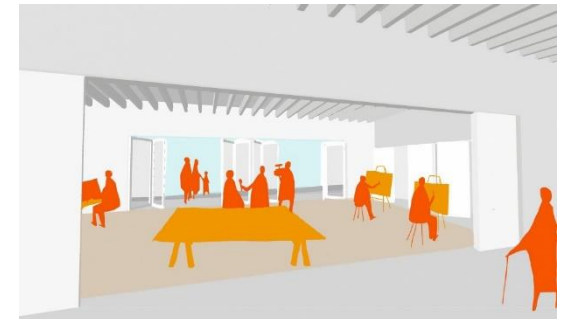
IT・DXの融合

新しい技術を使った多様な体験ができます

**新**▶ 子どもから大人まで参加し、楽しめるプロジェクト型のアート体験などを行います

IT・DXの融合

▶ 公募展(アンデパンダン展など)や感想画の募集などを行います



## ③ 展示機能

- (1) 歴史・文化を伝える資料
- (2) 四万十川をはじめとする四万十町の魅力発信

四万十町に点在する歴史資料に触れる場として、町内外の人たちに町の歴史や魅力をつないでいきます

■具体的には…



歴史資料を展示します

歴史的文書を保管・展示します

文化的施設の特徴を生かして図書、美術（アート）体験と連動した企画を行います

**新**▶ 四万十の歴史を感じさせるストーリーを持った歴史資料の常設展示を行います

**拡**▶ 図書館が所蔵する古文書を適切に保管します

**拡**▶ 歴史資料や文書を題材にした学びや体験の機会を作ります **IT・DXの融合**

**新**▶ アートスペース等を使った企画展示を行い、町内の郷土館などへの誘導を行います **IT・DXの融合**

**新**▶ 文書のデジタル化とデジタル展示を検討します **IT・DXの融合**

**新**▶ 他の歴史資料を保管・展示する町内施設と連携し、回遊を促します（民俗資料の出張展示など）



※ページ内の写真は、瀬戸内市民図書館の展示の様子



## ④ コミュニティ機能

- (1) 集う・過ごす・話す・楽しむ
- (2) 飲食 (場所・出店販売等)
- (2) ものづくりラボ
- (3) まなびサポート
- (4) 子育てサポート

文化的施設は誰でも気軽に利用でき、様々な世代の方が自分の居場所として、また交流の場として活用し、町全体とつながり、人と町も生き生きと活動・活躍できるサイクルを生み出します

■具体的には…

町民の皆さんに開かれた施設です

中心市街地や町の中とのつながりを持った施設です

文化的施設の活動は町民の皆さんと一緒につくっていきます

**【拡】**▶ 子どもも大人も本や雑誌を読む、アートプロジェクトに参加する、展示を見る、思い思いにひとりで過ごすことも仲間と過ごすこともできます

**【新】**▶ 町民の皆さんの「やってみたい」を実現していく場をつくっていきます

**【拡】**▶ 歴史・文化ゾーンにある岩本寺や旧都築邸等と連携して、まちの文化や魅力を発信します

**【新】**▶ 町内外の人(観光客含む)の交流の場となります

**【拡】**▶ 文化的施設の中にとどまらず、地域にでていく活動も行います

IT・DXの融合

**【新】**▶ 施設の活動を共に支えるサポーター制度(仮)を整備します

**【拡】**▶ 町民の皆さんの企画やイベントを応援します

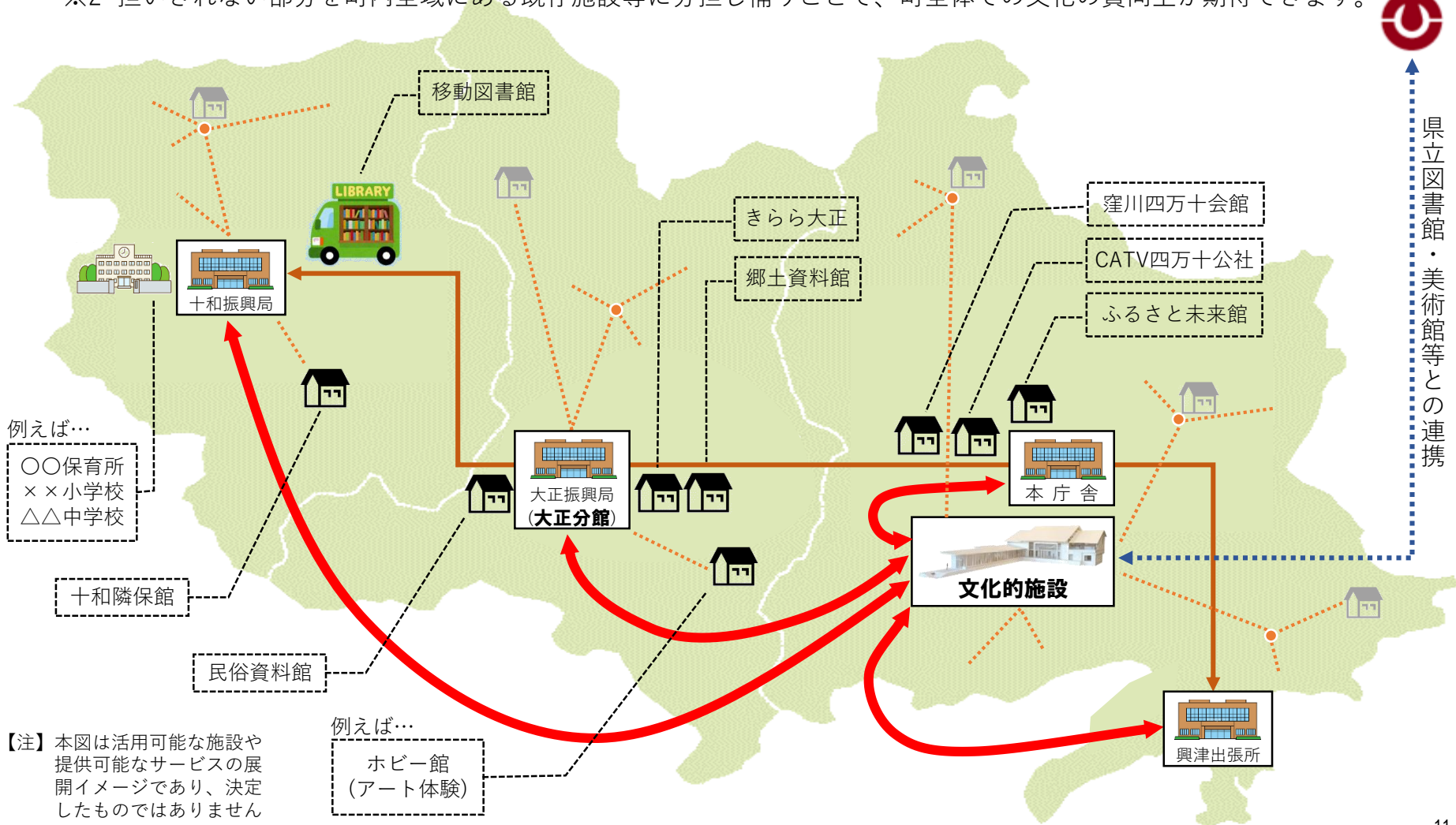


# 町内関係施設等との連携及び役割分担（イメージ図）

▶ 文化的施設を【核】として『各地域振興局(大正分館)』や『既存(遊休)施設』に機能や役割を分担し相互に補い広げ合うことで、町内全体で文化の振興や人の交流を促します。

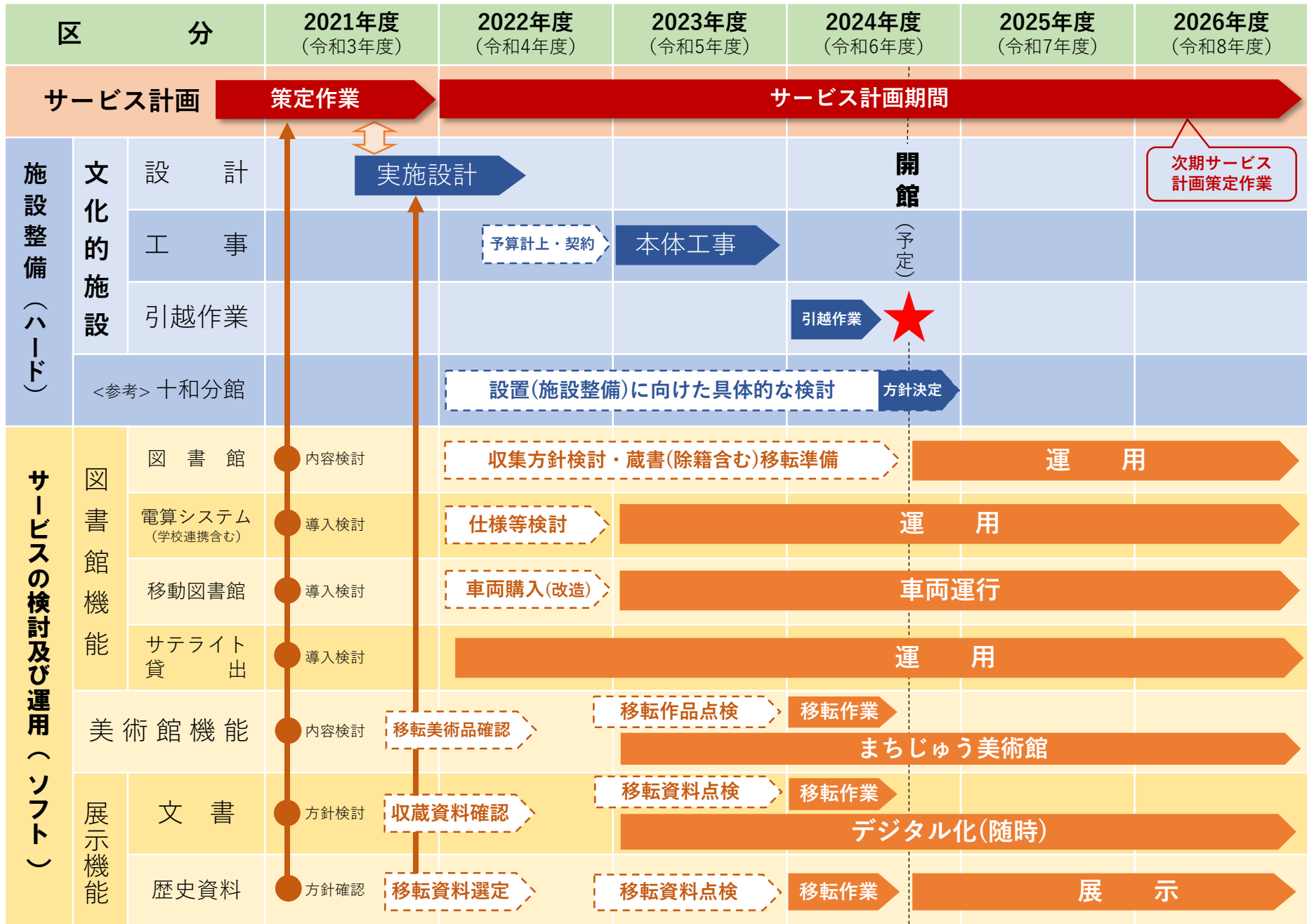
※1 文化的施設に町内にある全ての歴史資料や必要な機能を集中させることは現実的に困難と考えられます。

※2 担いきれない部分を町内全域にある既存施設等に分担し補うことで、町全体での文化の質向上が期待できます。



# サービス計画と施設整備との関係（兼スケジュール案）

R03.08.31現在



# 「まちづくりの拠点」としての役割と期待される効果①（イメージ図）

## 文化的施設 = 「まちづくりの拠点」としての役割

ハード

これまで

これから

現図書館・美術館



図書館

- ▶本の収集・貸出
- ▶本を静かに読むところ



- ▶課題解決への支援
- ▶ティーンズコーナーの設置
- ▶町内全域へのサービス展開

①図書館機能

美術館

- ▶作品の収集保管
- ▶作品を静かに鑑賞する場



- ▶収蔵環境等の改善
- ▶対話型鑑賞の体験
- ▶プロジェクト型アート体験の実施

②美術館機能



町内各施設

郷土資料館

ふるさと未来館

民族資料館



- ▶保存・継承
- ▶展示
- ▶町内の回遊  
(まちじゅう美術館)

③展示機能

化学反応



④コミュニティ機能  
(仕組み・仕掛けづくり)

- ・まちの情報が集まる場づくり
- ・交流の場づくり  
例えば…掲示板の設置や町民企画による中庭でのイベント
- ・子育て助けあいの場づくり
- ・学びあいの場づくり
- ・多世代が集う場づくり
- ・参加や活躍の場づくり  
例えば…読み聞かせボランティアやサポーター・子ども司書
- ・誰でも気軽に利用できる場づくり

ソフト

定住者の増加

来訪者や移住者の増加



町民の幸福度

町の魅力度



期待される効果

それによって何が生まれる？  
どんな効果が期待できる？

四万十町文化の発信  
地域内の交流促進  
町民の課題解決  
まちなかにぎわい  
地域産業の活性化

▶まちの『知の連環』



■ 具体例は次ページ参照

# 「まちづくりの拠点」としての役割と期待される効果②（想定される実践例）



## ▶子育て編



# 「まちづくりの拠点」としての役割と期待される効果②（想定される実践例）

写真提供：岩手県紫波町／紫波町図書館・岡山県西栗倉村／あわくら会館



## ▶ 林業編

【図書館機能】  
ビジネス支援コーナー



【テーマ展示】



▶ 林業企画展示




四万十町の強みを生かした「林業」振興

レファレンス      つなぐ・仕掛ける





【関係各課】  
双方向による連携・支援や企画提案 → 事業の広がりや深まり・効率化



一緒にあの山の手入れをせんかえ？

▶ やってみんな掲示板

- ・ 情報が集まる場
- ・ 交流の場
- ・ 学びあいの場

仲間づくり

林業振興

情報発信

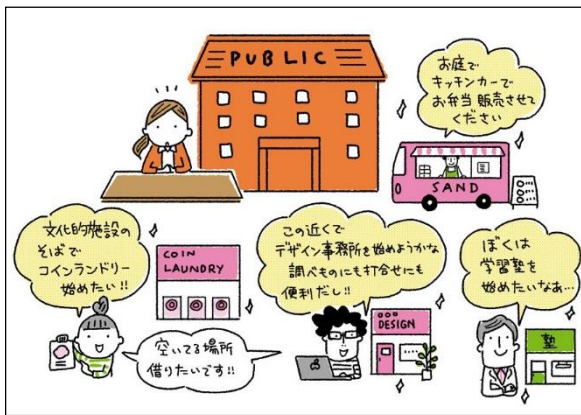
異業種交流



# 近隣施設との連携と波及効果（イメージ図）



複合的な機能を有した文化的施設ができることで、周辺地域からだけでなく、町内・町外からの新しい人の流れが生まれることが想定されます。



商店街内の事業者や起業家、地域住民によるまちづくり活動への支援等により、施設周辺での魅力的なお店等の増加を促し、新しく生まれる人の流れを市街地に波及させていきます。



文化的施設では、職員が来館者のお悩み等をお聞きし、解決するための情報提供を行う役割も担っていく予定です。文化的施設と周辺施設で機能補完していくことで、周辺地域との回遊を生み出していきます。



商工会、観光協会や商店街、岩本寺、旧都築邸等と連携した企画やイベントを継続的に開催する等、本を借りに来る人だけでなく様々な目的を持った方に来て頂けるようなしかげづくりを行っていきます。



**相乗効果で文化的施設周辺におけるエリア全体の魅力向上**

文化的施設の整備、市街地の活性化などの取組みを別々に行うのではなく、文化的施設の周辺地域を1つのエリアとして捉え、連携を図りながら一体的に、同時進行で取り組んでいきます。そうすることで、それぞれの効果を倍増させ、エリア全体の魅力を向上させていきます。

# 文化的施設の基本設計概要①

R03.08.31 現在

【注】配置等は今後変更となる場合があります

メイン棟 1 F		メイン棟 2 F
アートギャラリー	交流コーナー 2	図書メインスペース
集密書庫・収蔵庫	事務・作業室	こどもトイレ・授乳室

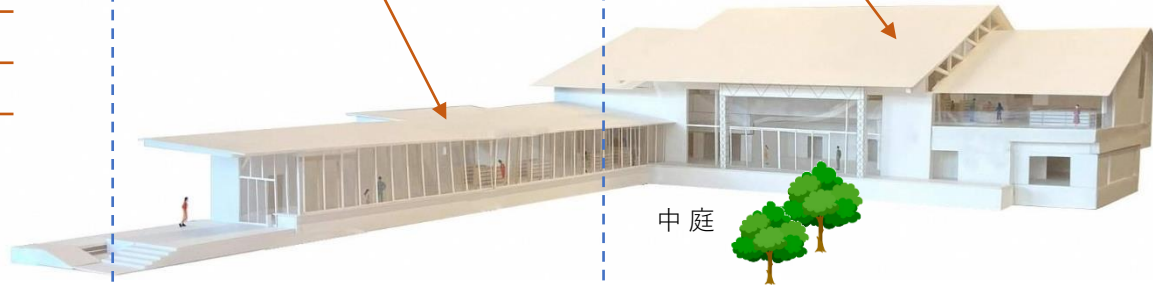
アプローチ棟 1 F
新聞・雑誌コーナー
スタジオ
交流コーナー 1

**アプローチ棟**  
(木造)

**メイン棟**  
(鉄筋コンクリート及び鉄骨造)

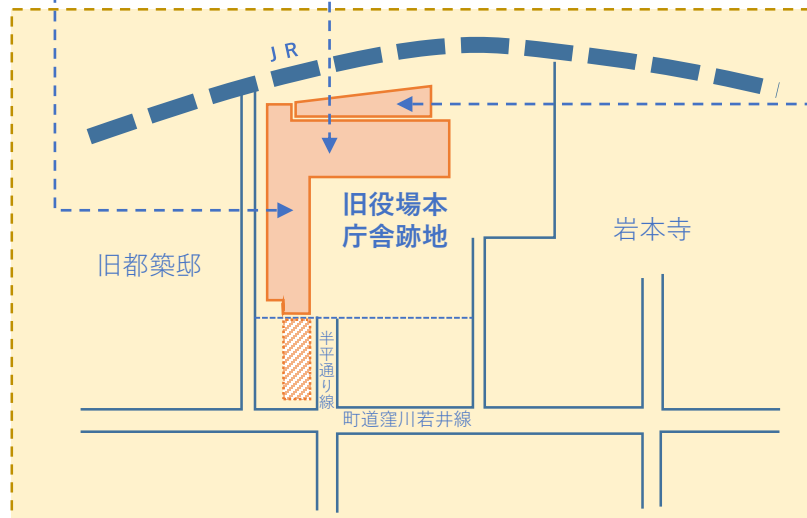
**線路棟** ※線路側2F部分  
(木造)

線路棟 2 F
ティーンズコーナー
グループ学習室
おはなしスペース



## 施設の概要 R03.08.31 現在

延床面積	2,028 m <sup>2</sup>
構造	メイン棟…鉄筋コンクリート及び鉄骨造 (一部SRC造) アプローチ棟 } 木造 線路棟 }
木材使用量	90 ~ 110 m <sup>3</sup>
総事業費	15億9,431万円 (税込)



## 敷地内及び周辺駐車場計画 計50台

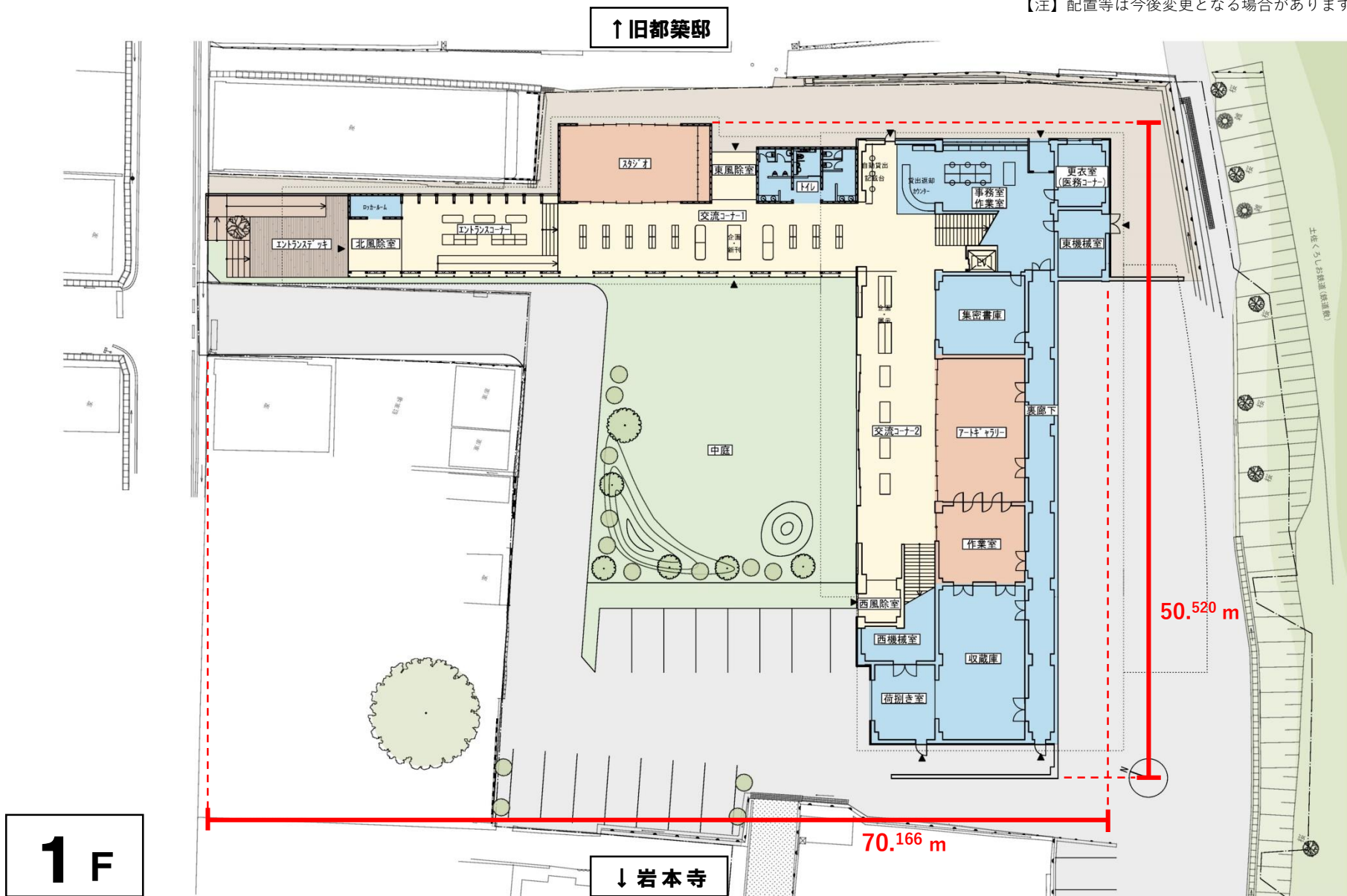


【注1】精査中／事業費未確定部分を除く  
【注2】周辺整備等の関連事業費を除く

# 文化的施設の基本設計概要②

R03.08.31 現在

【注】配置等は今後変更となる場合があります

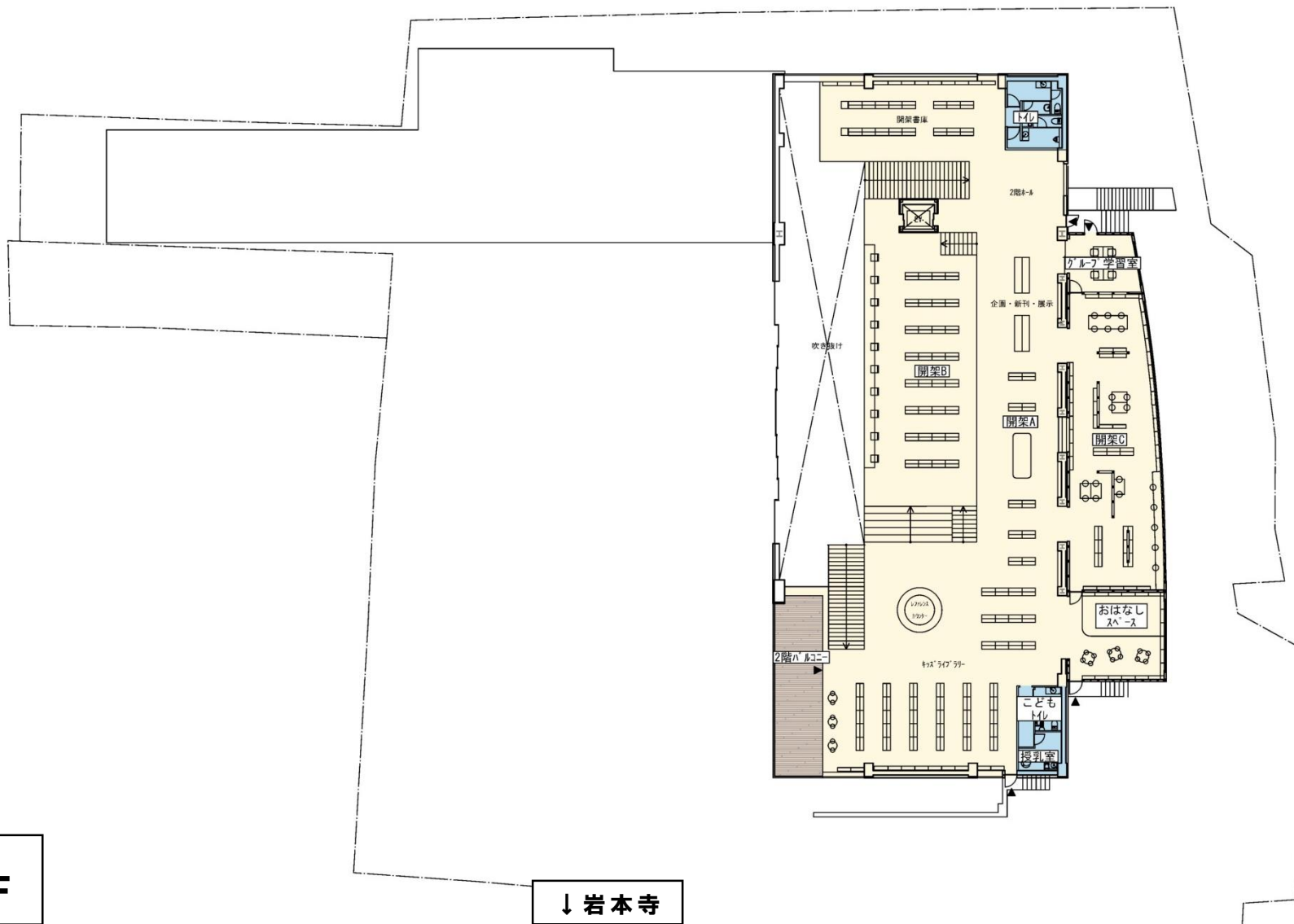


# 文化的施設の基本設計概要③

R03.08.31 現在

【注】配置等は今後変更となる場合があります

↑ 旧都築邸



2F

↓ 岩本寺